

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名			男	生年月日	昭和 年 月 日 () 時 分 生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください
死亡したとき	令和 年 月 日 時 分				
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち) 1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他			
	死亡したところ				
	(死亡したところの種別1～5) 施 設 の 名 称	()			
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	右血胸	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	短時間
		(イ)(ア)の原因	胸部大動脈解離		同上
		(ウ)(イ)の原因			
		(エ)(ウ)の原因			
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等			
◆I欄、II欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください ◆I欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください ◆I欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください ただし、欄が不足する場合は(エ)欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください	手術	無	部位及び主要所見	手術年月日	令和 年 月 日
	解剖	無	主要所見		
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死		
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死		
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		大阪府
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況				
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別 1 単胎 2 多胎 (子中第 子)	妊娠週数 満 週	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日 昭和 年 月 日 平成 年 月 日		前回までの妊娠の結果 出生児 死産児 人胎 (妊娠満22週以後に限る)	
その他特に付言すべきことから 公衆浴場の浴槽内に水没していたもの。胸骨圧迫にて、口から湯と食物が溢れた。救急搬送先病院でCTを実施した。上記診断を確認した。軽度の心臓血腫も認めた。					
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日		
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日		
医 師			印		

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			女	生年月日	昭和 年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)
死亡したとき	令和 年 月 日 時 分				
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他	
	死亡したところ				
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()			
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	左血胸	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	不詳
		(イ)(ア)の原因	胸部大動脈解離		同上
		(ウ)(イ)の原因			
		(エ)(ウ)の原因			
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等			
◆I欄、II欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください ◆I欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください ◆I欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください ただし、欄が不足する場合は(エ)欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください	手術	無	部位及び主要所見	手術年月日	令和 年 月 日
	解剖	無	主要所見		
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死		
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺死 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死		
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		大阪府
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況				
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	妊娠週数	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	1無 2有	1単胎 2多胎 (子中第 子)	満 週	
追 加 事 項	母の生年月日		前回までの妊娠の結果		
	昭和 年 月 日 平成		出生児 人胎 死産児 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら CTにより診断。胸部大動脈下降部に解離を認める。					
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日		
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日		
医 師			印		

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			女	生年月日	昭和 年 月 日	
				(生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)		
死亡したとき	令和 年 月 日	時 分				
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ					
	(死亡したところの種別1～5)施設の名称	()				
死亡の原因	I	(ア)直接死因	左血胸	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください （例：1年3か月、5時間20分）	やや短時間	
		(イ)(ア)の原因	胸部大動脈解離		不詳	
		(ウ)(イ)の原因				
		(エ)(ウ)の原因				
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
	手術	無	部位及び主要所見	手術年月日	令和 年 月 日	
解剖	無	主要所見				
死因の種類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死			
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 } 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 } 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死			
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他			
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況					
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	単胎・多胎の別	妊娠週数			
	グラム	1単胎 2多胎 (子中第 子)	満 週			
追 加 事 項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日	前回までの妊娠の結果			
	1無 2有	昭和 月 日 平成	出生児 人胎 死産児 (妊娠満22週以後に限る)			
その他特に付言すべきことがら						
既往歴；高血圧、乳がん、心不全。昼食を半分位食べたところで、椅子から崩れ落ち、心肺停止となった。救急搬送先の千船病院でCT実施、上記の所見を得ていたことを確認した。						
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日			
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日			
医 師			印			

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名			男	生年月日	昭和 年 月 日	() 時 分	
死亡したとき	令和 年 月 日				時 分		
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他			
	死亡したところ						
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()					
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	左血胸	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください （例：1年3か月、5時間20分）	2時間弱		
		(イ) (ア) の原因	胸部大動脈解離		不詳		
		(ウ) (イ) の原因					
		(エ) (ウ) の原因					
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	高血圧症	不詳			
手術	無	部位及び主要所見		手術年月日	令和 年 月 日		
解剖	無	主要所見					
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死				
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 6 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死				
外 因 死 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府	
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他			
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況						
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	妊娠週数	満 週	
追 加 事 項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状			母の生年月日	前回までの妊娠の結果		
	1無 2有	3不詳		昭和 年 月 日 平成	出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら 急に倒れ、救急搬送先で、検査実施。左胸腔高吸収は、穿刺にて血液と確認。血液検査にて、BNP639.9pg/mL, hemoglobin 10.3mg/dL。							
上記のとおり検案する				検案年月日	令和 年 月 日		
				本検案書発行年月日	令和 年 月 日		
医 師				印			

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏 名			女	生年月日	昭和 年 月 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)
死亡したとき	令和 年 月 日	時 分			
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)	1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他		
	死亡したところ				
	(死亡したところの種別1～5) 施設 の 名 称	()			
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	左血胸	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間
		(イ)(ア)の原因	胸部大動脈解離		同上
		(ウ)(イ)の原因			
		(エ)(ウ)の原因			
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等			
	手術	無	部位及び主要所見	手術年月日	令和 年 月 日
解剖	無	主要所見			
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死		
	I 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死		
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他		大阪府
	手段及び状況				
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	妊娠週数
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状		母の生年月日		前回までの妊娠の結果
	1無 2有	3不詳	昭和 年 月 日 平成 年 月 日	出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)	
その他特に付言すべきことがら 容態急変後、約45分後、救急隊到着時には、心停止。救急搬送先病院にて、胸部大動脈解離と診断。監察医が、再度、CT撮影、胸腔穿刺にて、血液であることを確認した。					
上記のとおり検案する		検案年月日	令和 年 月 日		
		本検案書発行年月日	令和 年 月 日		
医 師			印		

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			女	生年月日	昭和	年	月	日	() 時 分
死亡したとき	令和	年	月	日	時	分			
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他					
	死亡したところ								
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()							
死 亡 の 原 因	I	(ア) 直接死因	右血胸			発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間		
		(イ) (ア) の原因	大動脈弓部解離				不詳		
		(ウ) (イ) の原因							
		(エ) (ウ) の原因							
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等							
手術	無	部位及び主要所見			手術年月日	令和 年 月 日			
解剖	無	主要所見							
死 因 の 種 類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死						
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死						
外 因 死 の 追 加 事 項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分				傷害が発生したところ	大阪府		
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他					
	手段及び状況								
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	妊娠週数	満 週			
追 加 事 項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状			母の生年月日	前回までの妊娠の結果				
	1無 2有			3不詳	昭和 年 月 日 平成 年 月 日	出生児 人 死産児 人 (妊娠満22週以後に限る)			
その他特に付言すべきことがら									
●月●日夜から右肩から前胸部にかけて痛みを感じていた。CTにて診断。									
上記のとおり検案する			検案年月日	令和 年 月 日					
			本検案書発行年月日	令和 年 月 日					
医 師			印						

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日		() 分	
死亡したとき	令和 年 月 日		時 分					
死亡したところ 及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他				
	死亡したところ							
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()						
死亡の原因	I	(ア)直接死因	腹部大動脈瘤破裂（推定）			発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください （例：1年3か月、5時間20分）	やや短時間	
		(イ)(ア)の原因						
		(ウ)(イ)の原因						
		(エ)(ウ)の原因						
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等						
	手術	無	部位及び主要所見			手術年月日	令和 年 月 日	
解剖	無	主要所見						
死因の種類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死					
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 } 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焰による傷害 外因死 } 窒息 7 中毒 8 その他 その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死					
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分			傷害が発生したところ	大阪府		
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他				
	手段及び状況							
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)		妊娠週数 満 週		
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状			母の生年月日		前回までの妊娠の結果		
	1無 2有			3不詳		出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことから 既往歴；高血圧、糖尿病、心不全など。3日前、インフルエンザA感染判明。救急搬送先病院にてエコー実施。腹腔血液貯留を確認した。								
上記のとおり検案する				検案年月日	令和 年 月 日			
				本検案書発行年月日	令和 年 月 日			
医師				印				

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名			男	生年月日	昭和 年 月 日		() 時 分	
死亡したとき	令和 年 月 日 時 分							
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	(右枠記載のうち)		1 病院 2 診療所 3 介護医療院・介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他				
	死亡したところ							
	(死亡したところの種別1～5) 施設の名称	()						
死亡の原因	I	(ア)直接死因	左血胸（心嚢血腫）			発病（発症）又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください (例：1年3か月、5時間20分)	やや短時間	
		(イ)(ア)の原因	胸部解離性動脈瘤破裂				同上	
		(ウ)(イ)の原因						
		(エ)(ウ)の原因						
	II	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等						
	手術	無	部位及び主要所見			手術年月日	令和 年 月 日	
解剖	無	主要所見						
死因の種類	(右枠記載のうち)		1 病死及び自然死					
	1 病死及び自然死		不慮の外因死 { 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火傷による傷害 外因死 { 窒息 7 中毒 8 その他 } その他及び不詳の外因死 (9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因) 12 不詳の死					
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	令和 年 月 日 時 分				傷害が発生したところ	大阪府	
	傷害が発生したところの種別	(右枠記載のうち)		1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他				
	手段及び状況							
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別 1単胎 2多胎 (子中第 子)		妊娠週数		満 週	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状			母の生年月日		前回までの妊娠の結果		
	1無 2有			3不詳 昭和 月 日 平成		出生児 死産児 人胎 (妊娠満22週以後に限る)		
その他特に付言すべきことがら CT上、胸部解離性大動脈瘤破裂、左血胸（高度）、心嚢血腫（中等度）、冠動脈石灰化（左下行枝、左回旋枝）高度。								
上記のとおり検案する		検案年月日		令和 年 月 日				
		本検案書発行年月日		令和 年 月 日				
医師				印				